

オランウータン救おう

旭山動物園 ボルネオフォーラム

森林破壊が進むボルネオ島の野生生物保護を支援する旭山動物園と、NPO法人旭山動物園くらぶ、ボルネオ保全トラストジャパン（BCTJ、東京）は11日、旭川市民文化会館で生物多様性保全フォーラム「ボルネオへの恩返し」を開いた。同島では森林破壊で

ボルネオソウやオランウータンなどが絶滅の危機にひんしており、同動物園は10日、マレーシア・サバ州野生生物局と合意書に調印し、野生生物レスキューセンター設立などの全面支援を決めた。フォーラムは、寄付など支援の輪を広げることが目的で市民ら約2

ヤシのプランテーション開発で野生生物の生

息が脅かされている現状を話し「ぜひ見に来てほしい」と訴えた。また、同動物園の坂東元園長らは、アブラヤシが原料のパーム油が日本でも食品に大量

に使われ、森林破壊を後押ししている現実を紹介。続くパネルディスカッションには、BCTJ理事で歌手の加藤登紀子さんも加わり「森林破壊は、われわ

れの生活ともつながっている」と訴えた。最後に加藤さんが「知床旅情」など3曲を歌い、支援を呼び掛けた。

（太田一郎）



50人が来場。同生物局のローレンシヤス・アンブ局長が、アブラ

持続可能な消費や開発のあり方について話し合ったパネルディスカッション